

400年の歴史を持つ八剱神社。その祭礼“竹鼻まつり”は羽島市を代表するお祭りです。その祭りに彩りを添える山車の曳行。今年は7輦の山車が勇壮に曳かれます。この山車の曳き手としてお祭りに参加して、一緒に盛り上げませんか？  
また、未来を担う子ども達に、あなたの勇壮な姿を見せてみませんか。  
あなたが竹鼻まつりを盛り上げる主役です。皆で素晴らしい祭りにしましょう。



# 竹鼻まつり 山車曳き手大募集

熱い志と竹鼻まつりから羽島の一步

お祭りは人の心を揺さぶり、魂を熱くさせてくれます。人が集い、羽島に興味を持って、故郷を想う心がひとつになれば、もともともと、羽島は良いまちになっていきます。羽島に住む私たちが、そんな強い絆で結ばれたなら…。さあ、一緒に明るい豊かな羽島の為に、まずは一步踏み出してみませんか。



## 募集要項

- ① 満20歳以上の羽島市在住又は在勤の方
- ② 下記日程のいずれかの時間に責任を持って参加できる方
- ③ 参加料/1人¥1,000  
(ハッピ貸し出し、弁当、雄姿の写真贈呈、イベント傷害保険、気合い付き)
- ④ 募集人数/先着70名

説明会・顔合わせ/2013年4月19日(金) 20時~21時 羽島市文化センター 201



## 開催日程

2013年5月3日(金)祝 (雨天順延5月4日のみ)

- ① 昼山車曳行隊 10時~17時 男性
- ② 夜山車曳行隊 17時~22時 男性  
(①②両方 10時~22時) 昼夜通して曳ける方大歓迎
- ③ 夜山車提灯隊 17時~22時 女性
- ④ お囃子(横笛) (練習があります) 男性

## 応募用紙

氏名	年齢 (才)	参加希望枠に ○を付けて下さい	い・ろ・は・に	電話番号 (連絡がとりやすい電話番号)
羽島市在住・在勤の住所 (案内はがきを送付する事があります)				メールアドレス (パソコンから送信します)
氏名	年齢 (才)	参加希望枠に ○を付けて下さい	い・ろ・は・に	電話番号 (連絡がとりやすい電話番号)
羽島市在住・在勤の住所 (案内はがきを送付する事があります)				メールアドレス (パソコンから送信します)
氏名	年齢 (才)	参加希望枠に ○を付けて下さい	い・ろ・は・に	電話番号 (連絡がとりやすい電話番号)
羽島市在住・在勤の住所 (案内はがきを送付する事があります)				メールアドレス (パソコンから送信します)
氏名	年齢 (才)	参加希望枠に ○を付けて下さい	い・ろ・は・に	電話番号 (連絡がとりやすい電話番号)
羽島市在住・在勤の住所 (案内はがきを送付する事があります)				メールアドレス (パソコンから送信します)

記入後切り取らずそのままFAXしてください。

応募先：FAX 391-5503 問い合わせ：090-4081-1648 担当 森 応募期限：2013年3月31日(日)

主催：竹鼻祭山車保存会・羽島の未来を築く会・美濃竹鼻中心市街地活性化委員会 後援：羽島市・羽島市教育委員会・羽島商工会議所・羽島市観光協会



2013年2月に**美濃竹鼻まつり・ふじまつり**が  
岐阜県「岐阜の宝ものプロジェクト」  
**明日の宝もの**に認定されました

今年の  
**ボランテイア風景**



今年曳行される  
**山車**

一

**福江町の山車**  
カラクリ人形「唐子文字書き」



製作/天明から寛政頃  
大幕/しよじょう緋ラシャ、金銀色糸「遣唐使」図  
水引/大幕に同じ、「花鳥」図  
見送/白ラシャ、金銀色糸「須佐男命大蛇退治」図

二

**新町の山車**  
手踊り



製作/濃尾震災で焼失、明治38年再建  
大幕/しよじょう緋ラシャ、「雲竜」図、金銀色糸ししゅう、天保年間の作  
水引/しよじょう緋ラシャ、「岩上の鷹」図  
見送/しよじょう緋ラシャ、「岩上の虎」図、天保年間の作、「猛虎」図、嘉永年間の作

三

**上町の山車**  
カラクリ人形「勅使 岩船竜」



製作/濃尾震災で焼失、明治32年再建  
大幕/緋ラシャ縫つぶし「竹林七賢人」図、天明年間の作  
水引/緋ラシャ、縫つぶし「唐八景」図、天明年間の作  
見送/「鳳凰」図、「人物」図、天明年間の作

四

**川町の山車**  
手踊り



製作/宝暦年間と伝えられる。  
大幕/しよじょう緋ラシャ、「きりん」図、「鳳凰」図  
水引/白ラシャ、「笹竜胆」図、金糸ししゅう  
見送/濃紺ラシャ、「義齒大人」図

五

**中町の山車**  
手踊り



製作/濃尾震災で焼失、一時奥町の山車を購入使用、大正2年に再建  
大幕/赤地金ランで七宝模様、昭和2年新調  
水引・見送/大幕と同じ

六

**上鍋屋町の山車**  
縮緬いづみのみ「ほてい踊り」



製作/濃尾震災で焼失、明治37年大垣久瀬川より購入  
大幕・見送/共に緋ラシャ無地  
水引/金糸織、明治37年に新調

七

**下鍋屋町の山車**  
カラクリ人形「唐子肩車太鼓打ち」



製作/天保年間と伝えられる。明治・大正各初年に改修  
大幕/しよじょう緋ラシャ、森高雅筆「雲上の仙人と虎、唐獅子」金銀色糸ししゅう  
水引・見送/大幕と同じ、図柄は各「群鳩」「岩上鷲」